デジタル技術による環境貢献評価事例

項目	内容	備考
1. 事例番号	1	
2. 評価実施時期	2021年7月	
3. 製品・サービス名、ビジネス名	RPA導入支援サービス	
4. 情報元	https://www.global.toshiba/jp/company/digitalsolution/case/articles/case2021/msk.html	当社ホームページでの公開記事
5. デジタル技術要素※	自動化	
6. 導入効果	東芝の「RPA導入支援サービス」を採用することで、 自動化 する業務の絞り込みから対象部門へのヒアリング、効果的な自動化ツールの選定、開発・運用基準の策定、体制の整備などにより 年間20,000時間以上の時間削減 (業務自動化全体で約76,000時間)に成功。特に自然災害など突発的な業務に対しても大きな成果が得られることとなった。	「4.」記載の記事より引用
7. 環境貢献※	【パラメータ定義】時間:労働時間 8時間/人・日 ・・・・① 【原単位】従業員数・勤務日数当たり排出原単位 <事務局> (*) オフィス/大都市 0.985 (kgCO2/人・日) ・・・・② 【算定実施】 削減した時間労働時間=20,000時間÷② =20,000時間÷8時間/人・日=2,500人・日 ・・・・③ CO2削減貢献量=③×② =2,500人・日×0.985kgCO2/人・日 =2,462.5kgCO2 =2.5tCO2	(*) 環境省ホームページ「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム サプライチェーン排出量算定から 脱炭素経営へ 算定時の参考資料 排出原単位データベース」を使用 【URL】 https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply chain/gvc/estimate tool.html#no 07

[※]一般的に公開されている技術情報等に基づいて当社が定めた評価方法により実施しています。